

## 【製品衝撃強さ試験機】

～ あなたの会社が製造した大切な製品は、使用中や輸送中の「衝撃」で不具合が生じたことはありませんか？ 『衝撃強さ試験』は、その対策の第一歩です。～

地方独立行政法人大阪府立産業技術総合研究所では、所有している試験研究機器等を用いて、中小企業の皆様の新技術・新製品の開発や生産管理・品質管理をお手伝いさせて頂いております。これら試験研究機器の利用可能範囲や仕様・性能などの特徴を、より具体的にご理解いただき、皆様方に一層ご利用いただくため、下記の要領で講習会を開催いたしますので、ご案内申し上げます。

- ◆日 時：①平成25年3月27日（水） 13：50～15：20  
②平成25年3月28日（木） 15：25～16：55  
各コース（①～②）の講習時間は約1時間30分です。

- ◆場 所：(地独)大阪府立産業技術総合研究所  
和泉市あゆみ野2-7-1 TEL:0725-51-2518  
当日は、講習開始時刻前に、当研究所の玄関ホール講習会開催案内小ボード前まで、ご参集ください。担当者が講習会場にご案内いたします。

- ◆定 員：各コース（①～②）とも、3名まで。  
※ 受講票は発行いたしません。定員を超えたときは、お断りする方のみ、ご連絡いたします。  
※ 受講にはTRIカードが必要となります。まだお持ちでない方は当日お申し込み頂くことができますので、担当者までお申し出ください(無料)。

- ◆受講料：無料

- ◆申込み先：(地独)大阪府立産業技術総合研究所 顧客サービス室 顧客サービス課  
※ お申し込みはメール ([fukyu@tri-osaka.jp](mailto:fukyu@tri-osaka.jp)) またはFAX (0725-51-2509) をお願い致します。  
メールでお申し込みを頂いた方のみ、返信で受付をお知らせ致します。なお、メールでお申し込みを頂いた方には、当研究所の関連情報をご案内する「産技研ダイレクトメールニュース」を配信させていただきますので、ご了承下さい。

### ◆対象機器：自動制御型衝撃試験装置

新しい製品を開発すれば、その製品が使用中や輸送中に受ける衝撃で破損しないことを確認するために衝撃試験を実施します。本装置はそのための試験機で、①衝撃台上に製品(供試品)を置く、②所定の衝撃パルスを衝撃台に発生させる、③製品(供試品)に損傷などが生じるか否かを確認する、という手順で実施します。ただし、注意すべき重要なポイントがいくつかあります。たとえば、製品(供試品)の固定方法や、加える衝撃パルスの大きさなどです。さらに、衝撃強さを調べるためには、損傷境界曲線を作図する必要もあります。

今回の機器利用講習会では、初心者の方でも十分にご理解いただけるよう、実際の機器に手を触れていただき、一つずつわかりやすく説明させていただく予定です。

この機会に、製品衝撃強さ試験を始めてみてはいかがでしょうか？

- ◆講習担当：(地独)大阪府立産業技術総合研究所 (TEL 0725-51-2518)  
製品信頼性科 主任研究員 中嶋 隆勝

